

青嵐

第12号
SPRING



学位授与式
外国語学部中国語専攻の卒業生の皆さん
(現外国語学部中国学科)



CONTENTS

01 北九州市立大学の地域貢献

特集

・ひびきの地域・産学連携、都市政策研究所、ビジネススクール など

06 TOPICS

・学位授与式、「鉄の絆」出版記念祝賀会、学生表彰

07 お知らせ

・履修登録、奨学金募集、定期健康診断、証明書発行機設置など

09 お勧めの本

・近藤倫明副学長

会議等、教員人事

10 北方サロン

こらむ

・都市政策研究所、教務課

11 入試広報 REPORT

・2008 年度一般選抜試験状況

北九州市立大学の地域貢献事業

北九州市立大学は、地域に根ざし、地域を変革する大学を目指して、2006年度には「地域貢献室」を設置し、地域貢献・地域連携事業を一元的に進めています。『日経グローバル』の全国大学調査「大学の地域貢献度ランキング」では、総合で2006年度2位、2007年度は8位、公立大学では2年連続トップにランクされました。今回の特集では、今後さらなる発展を目指す北九州市立大学の主な地域貢献事業をご紹介します。

ひびきの地域・産学連携



地域経済の活性化、国際社会の発展に貢献

ひびきのキャンパスは、既存技術の高度化と新産業の創出を目指し整備された「北九州学術研究都市」という良好な研究環境の下、これまで地域のニーズに応じた研究を行いその成果を地域社会に還元してきました。また、アジアをはじめ国際社会の発展にも貢献しています。

少水量型消火剤の開発と新たな消火戦術の構築

従来の「火事は水で消す。」という常識を覆し、大学（本学国際環境工学部 上江洲一也教授、河野智謙准教授）、地元の企業（シャボン玉石けん㈱）、行政（北九州市消防局）が共同で消火効率の高い消火剤を開発しました。動植物の油脂を用いた天然系石鹸の製造技術を活用したもので、合成系の消火剤に比べ自然界に与える影響が少なく「環境配慮型の一般火災用消火剤」として製品化に成功。この事例は、昨年6月「第5回産学官連携功労者表彰 総務大臣賞」を受賞しました。

少水量型消火剤の特徴

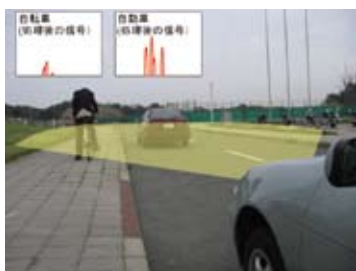
- ① 放水量を従来の約1/17に減少
- ② 環境負荷を大幅に低減
- ③ 消火活動の効率・機動性が增大



開発した消火剤による消火風景

知的クラスター創成事業

本学は、第Ⅰ期知的クラスター創成事業に引き続き、第Ⅱ期知的クラスター創成事業に採択されました。第Ⅱ期事業は、第Ⅰ期実施地域である福岡県と一体となり、「福岡先端システムL S I開発拠点構想」として福岡県が事業実施主体となって文部科学省に対して提案を行い、全国で9つの提案のうち6地域が採択されました。（本学は北九州地域で採択。）北九州地域での研究は、北九州学術研究都市などに立地する大学等と（財）北九州産業学術推進機構が中心となって事業を実施します。本学に関するテーマは、カーエレクトロニクスをはじめ7テーマあります。その中から、梶原昭博教授（本学国際環境工学部長）のカーエレクトロニクスに関する研究をご紹介します。



レーダ受信信号からその物体のプロファイルを識別し、車種、自転車、バイクなどを認識する

「脳情報処理による車載用知的センシングシステムの研究開発」

近年、出会い頭や斜線変更などに伴う衝突や追突事故を未然に防ぐために自動車レーダが実用化され、その普及が急速に進んでいます。しかし、従来のレーダでは前方や側方の障害物や物体を検知できてもそれが自動車かバイクか、またはガードレールなどを識別することができず急ブレーキをかけたりして事故に結びつくことが想定されます。そこで本研究では新しい自動車用検知・識別レーダを提案し、ひびきのキャンパス内で実証実験を行っています。実用化されると雨や霧などの悪天候および夜間でも自動車、バイク、歩行者などをすばやく検知・識別して交通事故を減らし、安全安心な車社会を構築することができます。

※ 知的クラスター創成事業とは、地方自治体の主体性を重視し、知的創造の拠点たる大学、公的研究機関等を核とした、関連研究機関、研究開発型企業等による国際的な競争力のある技術革新のための集積の創成を目指す、文部科学省の事業です。

都市政策研究所

「産業」「文化」「社会」の発展と魅力あるまちづくりに貢献

都市政策研究所は大学と地域の連携拠点です。誕生してわずか2年しか経過していませんが、わたしたち研究所の所員は、北九州市立大学の知的総合力を最大限に活かしながら地域社会の発展に貢献するために一丸となって様々な事業に取り組んでいます。

調査研究の柱は「産業経済」「社会福祉」「都市計画」、どの分野もまちづくり、ひとづくりによる地域貢献の大切なコンテンツを含んでいます。



2007年度都市政策研究所・研究報告会 ミニワークショップ

2006年度の活動内容

- 地域課題研究 ○
「地域イノベーション」に関する研究をはじめとして、「市民センターと福祉活動」「集客力のある都市づくり」などの研究、さらに「関門地域の連携・協働の可能性」を研究。
- 受託調査研究 ○
「人口減少・高齢化に対応したまちづくり」「若者の就業意識」「市民意識調査」「ルネッサンス構想の評価」などを実施。
- コンサルティング ○
地域中小企業の新事業開発（液晶関連）などを支援。
- その他 ○
審議会や委員会、講演活動などに積極的に参画。地域のまちづくりに大きく貢献。

2007年度の活動内容

- 地域課題研究 ○
「創造都市の形成」に関する研究をはじめとして、「地域活動におけるセーフティネット」「集客力のある都市づくり」などの研究、さらに「関門特別市の意義・実現」に関する研究など。
- 受託調査研究 ○
「中心市街地活性化」「歩いて暮らせるまちづくり」「産学連携」「地域ブランド」「ベンチャー」など。
- 公開講座 ○
「わがまち北九州のまちづくり～20年の軌跡～」の実施。
- その他 ○
北九州市立大学の経済効果や仁川発展研究院との研究交流会、2007年度研究所・研究報告会を実施。

(都市政策研究所)



ビジネススクール

地域の中核的役割を担うリーダーを養成

2007年4月に開設された北九大ビジネススクール（大学院マネジメント研究科）は、本学が蓄積したアカデミックな「知」に加え、地域の実務界が培ってきた実践的な「知」を活かし、地域の中核的役割を担える高度なマネジメント能力を備えたリーダーを養成することで地域に貢献することを目的としています。



カルロス・ゴーン氏とのパネルディスカッションに備え、勉強会を実施

2007年度の地域貢献活動

- 地域社会との連携 ○
 - ・ 地域に貢献する企業・団体等よりゲストスピーカーを多数招聘
 - ・ カルロス・ゴーン氏（日産自動車社長兼CEO）を北九大に招き、ビジネススクール学生とパネルディスカッションを開催。学生や企業経営者など約700名が参加。
 - ・ 研究機関誌（紀要）、フリーペーパー（Ajilitas）を創刊（北九州市内の大学・企業・団体等に無料配布）
- 他大学との連携 ○
 - ・ 開学記念シンポジウムを機にQBS：九大ビジネススクール、APU：立命館アジア太平洋大学、KAIL：九州アジア経営塾と連携を推進
 - ・ 香川大学ビジネススクールとの共同研究

(教務課)

教員の地域貢献活動

地域の生態系再生の試み ～市民参加による水と緑のまちづくり～

国際環境工学部 准教授

DEWANCKER Bart Julien

デワンカー ハート ジュリエン

NPO 北九州ピオトープ・ネットワーク研究会の発足以降、7年間に75回を数える環境実践イベントや竹林保全活動を行った。人間が手を加える事によって成立していた里山は、所有者の高齢化、地域の過疎化などにより、ほとんど放置されている現状で、内包する竹林が森林への侵食及び光合成を妨げ、樹木が枯死し、森林土壌の破壊、保水能力の低下及び自然の水質浄化力の低下、生態系への悪影響等を招き、森林全体への影響が懸念されている。竹林保全の市民参加型環境保全イベント、「平成竹取伝説」（計40回実施、継続中）を実施している。延べ2000人強の市民により300m³以上の竹材を間伐し、これらの竹林の整備を通じて、人間と森林、竹林の触れ合いの場づくりを構築している。



「平成竹取伝説」の活動

北九州市の公共政策

法学部 教授

榎原 真二

ナラハラ シンジ

『北九州 NPO ハンドブック』の作成、小倉北区黄金商店街に「黄金まち NPO ステーション」を設立するなど、北九州市の市民社会とまちづくり・公共政策のあり方を一貫して研究している。現在は、局地的な高齢化が進むコミュニティにおける1人暮らしの高齢者を地域がどう見



シンポジウムでの報告

守るのかという問題について、ゼミ生とともに模索している最中。また、2007年9月に開催された日本公共政策学会主催の学生コンペでは「21世紀の北九州市のまちづくり-市民センターを中心として」と題する論考で総合1位を獲得した。同テーマに関しては、2008年1月26日にシンポジウムを大学で開催し、提言について学生と市民が意見交換を行うなど、北九州市の公共政策等のあり方についての積極的な議論の展開を専門的見地から後押ししている。

チャイルドライン北九州

文学部 教授

河嶋 静代

カワシマ シズヨ

18歳未満の子ども向けの専用電話「チャイルドライン北九州」の代表を務める中で、「子どもの権利条約」の実現と「子どもの意見表明権」を具現化するものとして、子どもの声を育成し、社会に発信していこうとしている。チャイルドライン北九州の



電話カードの発送作業

特徴は、全国60数団体のチャイルドラインの中で数少ない「若者ライン」という点であり、子どもの年齢に近い若者が電話の受け手となるピア的な活動をしていることで、「子どもの心の居場所」となることをめざし、若者と大人のパートナーシップのもとに活動を進めている。今秋から、他団体と連携し、月曜から日曜までの開設日の拡大とフリーダイヤル化を計画している。チャイルドライン北九州が今後も地域の財産として引き継がれていき、地域のすべての子どものための社会システムとなるようNPO化を進めている。

黒崎まちながプロジェクト

国際環境工学部 准教授

赤川 貴雄

アカガワ タカオ

JR黒崎駅前にある熊手銀天街の組合は、空き店舗が年々増加傾向にあることに危機感を抱いていたことから、八幡西区役所を通じ、赤川研究室と空き店舗を利用した交流スペースの設置に取り組むことになった。赤川研究室では、2006年度に熊手銀天街と共



活動の様子

同で交流スペースの設計と施工を行い、2007年度は販売カートと照明をデザインするなどさまざまな形で商店街の活性化を目指している。今後は商店街の“デザイン”を通じた活性化と、地元企業と共同で北九州ブランドのプロダクトの創造を目指していく計画である。

NPO学研都市留学生支援ネットワーク

国際環境工学部 教授

高 偉俊

ガオ ウエイジュン

NPO学研都市留学生支援ネットワークでは、市民参加、相互扶助の精神のもと、折尾等の地区を含めた北九州学術研究都市を中心に、外国人及び国際交流活動に関心のある幅広い市民に対し、文化の交流や必要な情報の提供、相談等を行っている。



北九州学研都市留学生歓迎会

発起人として本会の設立に関わり、この活動を通じて、外国人留学生等の地域社会への参加を図り、外国人と日本人の真の共生を促進し、国際交流に寄与することを目的とし、以来中国語教室、留学生相談室等の事業を立ち上げ、ボランティア活動を行っている。

学生のボランティア活動

福岡子ども守り隊 “守るんジャー”



子どもたちの通学路における事件が多発する昨今、一人でも多くの子どもたちが笑顔で安心して通学できるよう、下校時刻に通学路に立ち、見守る活動を行っています。

「私たち学生の活動で、安全な下校時間を子どもたちに提供し、同時に大学と地域を結ぶ架け橋になることができれば」と活動に参加する学生は語ります。

◀ 合言葉は「Safe Fukuoka For Children（安全な福岡を子どもたちのために）」

(学生課)

環境教育プロジェクト “HERO”



2003年7月、国際環境工学部の学生により『環境教育プロジェクト “HERO”』を立ち上げました。その目標は「環境教育という立場から、自分達が環境に対して何かできないかを考え活動し、活動を通してみんなで環境問題を考えてさらに行動する」です。地域住民との清掃活動や植樹活動、児童を対象とした自然体験教室の開催など、身近なところから環境問題を発信し続けています。

◀ 植物をテーマにした冒険型ウォークラリー「グリーンパクエスト」

(管理課)

北九州市の付属機関等への貢献

本学教員は、その専門的見識を活かし、北九州市の様々な審議会・委員会等の付属機関等の委員として貢献しています。2008年3月末現在の委員就任状況の一部をご紹介します。

学長	矢田 俊文	北九州市基本構想審議会会長
外国語学部教授	田村 慶子	(財) アジア女性交流・研究フォーラム理事
経済学部教授	晴山 英夫	北九州市政府調達苦情検討委員会委員長
経済学部教授	迎 由理男	北九州市国民健康保険運営協議会会長
経済学部教授	柳井 雅人	北九州市基本構想審議会委員
文学部教授	加倉井 美智子	北九州市スポーツ振興審議会委員
文学部教授	竹川 大介	北九州ブランド開発委員会副委員長
文学部准教授	岩松 文代	明日の農林水産業を考える懇話会委員
文学部准教授	児玉 弥生	市民バスネット協議会委員
文学部准教授	恒吉 紀寿	子どもの未来をひらく教育改革会議座長
法学部教授	今泉 恵子	北九州市土地利用審査委員会委員
法学部教授	岡本 博志	北九州市消費生活審議会会長
法学部教授	山本 光英	北九州市感染症診査協議会委員
法学部准教授	森 裕亮	北九州市自治基本条例検討委員会委員
法学部准教授	矢澤 久純	北九州市立医療センター医の倫理委員会委員
国際環境工学部教授	乙間 未廣	環境首都総合交通戦略策定委員会委員
国際環境工学部教授	楠田 哲也	北九州市下水汚泥処理アドバイザー委員会委員
国際環境工学部教授	国武 豊喜	カーエレクトロニクス拠点化推進委員会委員
国際環境工学部教授	GODLER Ivan	カーエレクトロニクス事業運営委員会委員
国際環境工学部教授	高橋 徹	カーエレクトロニクス事業運営委員会委員

国際環境工学部教授	松藤 泰典	産業連携研究開発事業助成金審査委員
国際環境工学部教授	吉塚 和治	環境産業ネットワーク形成委員会委員
国際環境工学部准教授	赤川 貴雄	北九州市基本構想審議会委員
国際環境工学部准教授	上原 聡	(財) 北九州産業学術推進機構運営アドバイザー
国際環境工学部准教授	佐藤 敬	(財) 北九州産業学術推進機構運営アドバイザー
国際環境工学部准教授	白石 靖幸	北九州市建築物総合環境評価制度検討委員会委員
国際環境工学部准教授	辻井 洋行	北九州エコプレミアム選定委員
国際環境工学部准教授	DEWANCKER Bart Julien	北九州市水際線利用協議会委員
国際環境工学部准教授	西浜 章平	先端研究施設共用イノベーション創出事業委員
国際環境工学部准教授	李 丞祐	(財) 北九州産業学術推進機構プログラム開発委員
基盤教育センター教授	稲月 正	北九州市基本構想を考える市民会議委員
基盤教育センター教授	漆原 朗子	(財) アジア女性交流・研究フォーラム編集委員
基盤教育センター教授	小野 憲昭	北九州市社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業運営監視・審査委員
基盤教育センター教授	重信 幸彦	北九州市文化財保護審議会委員
基盤教育センター教授	武藤 直彦	北九州市個人情報保護審査委員会委員
社会システム研究科教授	井原 健雄	北九州市モーダルシフト推進補助制度審査委員会委員
社会システム研究科教授	吉村 弘	北九州市公共事業再評価委員会委員長
マネジメント研究科教授	越出 均	北九州市中小企業技術開発振興助成金審査委員会委員
マネジメント研究科教授	齋藤 貞之	北九州市都市経営戦略会議委員長
マネジメント研究科准教授	城戸 宏史	北九州市外郭団体経営改革委員会委員
都市政策研究所教授	石塚 優	北九州市生きいき長寿推進協会委員
都市政策研究所教授	伊藤 解子	北九州市地方港湾審議会委員
都市政策研究所准教授	内田 晃	環境首都総合交通戦略策定委員会技術部会長
都市政策研究所准教授	松永 裕己	北九州市活性化施策評価委員会委員

(経営企画課)

大学間連携・地域連携

コラボラキャンパスネットワーク

コラボラキャンパスネットワークは、2006年1月から、本学と「乳幼児子育てネットワーク・ひまわり」、「NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」、「高齢社会をよくする北九州女性の会」などが取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。北方キャンパスの教室で定期的を開催している多世代交流の場「ハロハロカフェ」や学内菜園活動「コラボラ菜園」では、子育て中の親子や祖父母世代といった、学生が普段接することの少ない地域の方々と学内で交流できます。

(経営企画課)



コラボラ菜園に水やりをする地域の子もたちと学生

ジュニアマイスター養成講座（未来の科学者教室）



児童文化科学館が主催している講座で「ものづくり」の精神を子どもたちに伝え、新しい時代を切り拓く科学技術の根幹となる「科学が好き、ものづくりが好き」な子供の育成を図るために実施しています。本学は、2002年度から協力しています。

(管理課)

4大学スクラム講座

北九州市内の国公立等4大学（九州工業大学、九州歯科大学、産業医科大学）間で共同授業や単位互換等の連携を模索しています。2005年度から、連携事業の1stステップとして連携講座「4大学スクラム講座」を実施しています。

(経営企画課)

関門大学連携構想

北九州市立大学、下関市立大学等の関門地域の大学が、海峡を越えて連携を行う「関門大学連携構想」を検討しています。各大学の知的資源を結集し、時代の変化に適応しうる多様で質の高い教育・研究の実現を目指します。その第一歩として、関門地域の学生に対する教養教育の共同実施に向けた協議を行っています。

(経営企画課)

高大連携

サマースクール



高校生が大学のゼミを体験

高校の夏休み期間を利用し、大学で行われている「ゼミナール」を体験することを目的に「サマースクール2007」を開講しました。県内の高校15校165名の皆さんがチャレンジしました。ゼミでは、それぞれで課題を見つけ、図書館やネットを使い自分たちで調べたことを持ち寄り、活発な議論を交わしていました。また自分たちが調べたことの発表もしました。将来の大学での学びがイメージできたとの声が多数ありました。

(経営企画課)

2007年度学生表彰

北九州市立大学では、2005年度から本学学生の模範たる活動を行った学生を表彰しています。2007年度は、自主活動の分野で優秀な成績を収めた学生3名が受賞しました。

3月25日(火)に北方キャンパスで表彰式が開催され、受賞者の磯野紗希さん(外国語学部3年)、尾西正嗣さん(経済学部3年)、秦加奈さん(外国語学部3年)に表彰状が贈られました。

受賞者に聞きました

▶ 受賞を機に大学生活を振り返って…

今後の抱負



いその
磯野 さき
紗希

外国語学部外国語学科中国語専攻3年
中国言語文化研究会所属

- 五星奨 - 中国語コンテスト弁論の部 優勝
- 漢語橋～世界大学生中国語コンテスト～ 特別賞(最佳文彩賞)受賞

私は中国語専攻に入学後、数多くの暗誦・弁論大会に出場した甲斐あって中国語能力もアップし、留学も経験することが出来ました。留学時に出会った世界各国の仲間は、今でも私にとってかけがえのない存在です。大学生活もあと1年となり、4年次からのゼミでは、ゼミの仲間と中国について更に学び理解を深めていきたいと思っています。残りの学生生活で、もう一度中国に行き、中国各地の世界遺産巡りをするのが私の目標です。



おにし
尾西 まさつぐ
正嗣

経済学部経済学科3年
少林寺拳法部所属

- 少林寺拳法創始60周年記念大会一般初段の部 最優秀賞(優勝)

充実した大学生活を送れているのも監督やコーチを始め、多くの方々からの支援の賜物とっております。次なる目標は全国2連覇を達成し、世界大会に駒を進めていきたいと思っておりますので応援よろしくお願いします。



はた
秦 かな
加奈

外国語学部外国語学科中国語専攻3年
少林寺拳法部所属

- 少林寺拳法創始60周年記念大会一般初段の部 最優秀賞(優勝)

今後は中国語をもっと喋れるよう努力し、中国について更に理解を深めたいです。また部活面では、7月に行われる県大会に出場し、今年は二段の部で全国優勝を目指します。

(学生課)

2007年度 学位授与式

3月22日(土)に北方キャンパスの体育館兼講堂において、2007年度学位授与式が挙行政され、1,543名の方が卒業(修了)されました。



講堂での修了証書授与式

学位記の授与に続き、阿南惟正理事長からは、「志を高く」、「ゆとりを持って」、「心を豊かに」という3つの言葉が贈られ、矢田俊文学長からは、「広大な余白のある人生地図を自らの足で歩き、自分で自分をほめてやりたいと言える人生を送って下さい」と告辞がありました。

卒業(修了)された皆さん、おめでとうございます。今後さまざま分野でのご活躍を期待しています。そして、これからも北九大の応援をよろしくお願いします。

(総務課)

『鉄の絆 ウジミナスにかけた青春』 出版記念祝賀会

本学の阿南惟正理事長が、八幡製鐵所(現・新日本製鐵)勤務時代に、1961年から1964年の間ブラジル・ウジ



ミナス製鐵所の建設に携わった自身の経験を纏めた回想記「鉄の絆 ウジミナスにかけた青春」を出版しました。

その出版を記念し、2008年2月5日に北九州八幡ロイヤルホテルにて、祝賀会が盛大に開催されました。

当日は、各界から260名余りの方がお祝いにかかけつけられました。

(総務課)



お知らせ

学生定期健康診断

平成20年度学生定期健康診断の日程は下記の通りです。

日付	受付時間	対象
4月8日(火)	10時～19時	新4年生、大学院生
4月9日(水)	10時～19時	新3年生
4月10日(木)	10時～18時	新2年生
4月19日(土) (全学年予備日)	10時～13時	新1年生(経済・昼間主)
	14時～17時	新1年生(法・昼間主)
	10時～18時	新1年生(夜間主、大学院)
4月20日(日) (全学年予備日)	10時～13時	新1年生(外・昼間主)
	14時～17時	新1年生(文・昼間主)
	10時～18時	新1年生(夜間主、大学院)

※ 出来るだけ自分が所属する学年の日付で受診してください。ただし、どうしても都合が悪い場合は、他学年の日付でも受診可能ですので、**必ず受診してください。**

※ 日程等が変わる可能性もありますので、学内掲示板等で詳細を確認してください。

(学生相談室)

奨学金募集

奨学金には、日本学生支援機構(旧日本育英会)とその他(地方公共団体、民間団体等)の奨学金があります。

奨学金には、貸与と給付のものがありますが、ほとんどの奨学金は貸与となっており返還することが原則です。貸与を受けた以上は、制度維持のためにも必ず返還しなければなりません。このことを念頭において応募してください。

奨学金の詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

- ◆北方キャンパス：学生課学生係 (TEL 964-4013)
- ◆ひびきのキャンパス：管理課学生担当 (TEL 695-3350)

● 日本学生支援機構奨学金 平成20年度 定期採用スケジュール予定

<学部生>

申請者説明会 4月中旬
申請書受付 5月上旬
奨学生決定 7月上旬

<大学院生>

詳細はお問い合わせください。

● その他(地方公共団体、民間団体等)奨学金

団体等より募集依頼があるごとに掲示板でお知らせします。

※お知らせは掲示板等で行いますので、ご注意ください。

(学生課)

履修登録

新入生の皆さんへ

新入生の皆さんにとって履修登録は、初めての重要な手続です。単位を修得するためには、まず受講する科目を登録しなければなりません。

履修登録は、学内にあるパソコンを使って行います。入学時に配布される履修ガイドをよく読んで、卒業までの履修計画を立てたうえで、履修したい科目を選択し、履修登録することが必要です。

その際にとっても参考になるのがシラバス（授業計画書）です。シラバスには授業科目についてのさまざまな情報が掲載されています。

誤って登録したり漏れがあると、授業に出席し試験を受けても、単位を修得することはできませんので十分注意してください。

詳細については、北方キャンパスは教務課、ひびきのキャンパスは管理課教務担当までお問い合わせください。

(教務課)

北方キャンパス

◆登録期間： 4月14日(月)～4月18日(金)

◆登録修正期間：4月21日(月)～4月25日(金)

ひびきのキャンパス

◆登録期間： 4月14日(月)～4月21日(月)

◆登録修正期間：4月23日(水)～4月25日(金)

証明書発行機の設置

4月7日(月)から利用開始!

北方キャンパスの本館に各種証明書の発行機を4台設置しました。設置場所は、地下1階の生協の横(2台)と本館1階のA101教室の横(2台)です。利用方法は、学内パソコンを利用する際のIDとパスワードを入力した後、証明書発行機の画面に表示される指示に従い操作を行って、必要な証明書を取ってください。発行機で発行できない証明書、又は発行機で証明書の発行ができない場合は、従来どおり各担当窓口にご相談ください。

発行できる証明書

- 卒業見込証明書
- 修了見込証明書
- 成績証明書 在学 / 学部卒用
- 成績証明書 在学 / 院修了用
- 在学証明書
- 健康診断証明書
- 学校学生生徒旅客運賃割引証 (JR)

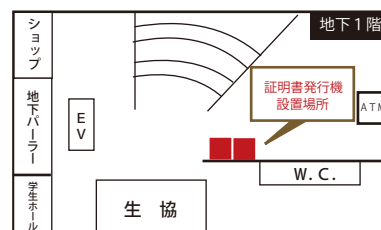
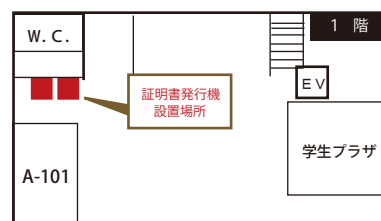
利用可能時間帯

月曜日～土曜日：午前8時30分～午後9時30分

(但し、祝祭休日、年末年始及び大学の行事により本館へ入館できない日を除きます。)



本館地下1階に設置中の証明書発行機



(学術情報課)



文学部教授
近藤倫明副学長のお勧め

こんどう みちあき



うめぼれる脳
「鏡のなかの顔」と自己意識

Julian Paul Keenan 著
山下篤子 訳
(NHK ブックス)

この本は、神経科学者 J. P. Keenan の原著 “THE FACE IN THE MIRROR” (2003) の日本語訳です。学生の皆さんの多くは、1日に1度以上鏡やショーウィンドーに映る自らの顔と対面していることでしょう。自分を鏡に映してお化粧したり、身づくろいしたり、姿勢を正したり、ただ眺めていたりさまざまな経験をしているはずですが、そのとき鏡に映っているのは自分であることを疑う人はいないでしょう。

この一見単純な鏡に映る自らの顔や姿を自分のものと認識できることの中に、実は自己意識というところと脳に関する科学的テーマが含まれているのです。自分への気づき、自分の意識への気づき、つまりセルフ・アウェアネスは、自分を意識し理解する能力だけでなく、他人の考えや意識を想像する能力、そして戦略的に自分や他人を欺く能力、これらすべての中に共通したものなのです。

自分を意識する自分とはいったい何か、そしてそれは脳の中のどこに局在するのだろうか？ この本は、神経科学、心理学、生物学の知見を通して私とは何か、意識とはなにかを考察した科学書です。鏡の中で、そして思考の中で自分を見つめるときに、その視点を広げるために皆さんに一読をお勧めします。

会議等

● 経営審議会 ●

第12回 3月18日(火)

【議案】

- ① 中期計画後期基本方針及び中期計画の変更
- ② 平成20年度計画案 ③ 平成20年度予算案
- ④ (仮称)地域創生学群の設置届出 ⑤ (仮称)地域創生学群の授業料

● 教育研究審議会 ●

第66回 平成20年1月29日(火)

【議案】

- ① 教員の採用 ② 学部長等の選任
- ③ 学科長等の選考 ④ 平成20年4月1日付昇任人事
- ⑤ 再任審査委員会の設置について
- ⑥ 教員の採用・昇任に係る規程等の見直し
- ⑦ 規程の改正 ⑧ 国際環境工学研究科博士前期課程の10月入学
- ⑨ 外国語学部自治会申入書に対する回答案
- ⑩ 北九州市教育委員会との連携協力に関する協定書締結
- ⑪ 情報セキュリティ委員会規程

第67回 平成20年2月12日(火)

【議案】

- ① 教員の採用 ② 学科長等の選考
- ③ 教員評価の見直し ④ 中期計画総括・中期計画の変更
- ⑤ アジアの社会と文化研究所設置準備委員会の設置

第68回 平成20年2月19日(火)

【議案】

- ① 教員の人事 ② 教員の昇任にかかる選考委員会の設置
- ③ 平成20年度計画 ④ 公的外部資金の不正防止
- ⑤ FD委員会の設置 ⑥ 全学カリキュラム委員会の設置
- ⑦ 各種委員会の委員選出

第69回 平成20年3月4日(火)

【議案】

- ① 平成20年度教育研究審議会の構成 ② 各種委員会の構成
- ③ 基盤教育センターひびきの分室設置準備委員会の検討結果
- ④ 基盤教育センター規程の改正 ⑤ 学友会交渉申入書に対する回答案
- ⑥ 学生表彰 ⑦ 地域創生学群の文科省届出
- ⑧ サバティカル制度の導入
- ⑨ 教員の採用・昇任に係る規程等の見直し ⑩ 平成20年度計画

第70回 平成20年3月6日(木)

【議案】

- ① 外国語学部中国学科長の選考 ② 教員の昇任
- ③ 教員の昇任に係る選考委員会の設置

第71回 平成20年3月25日(火)

【議案】

- ① 教員の昇任 ② 教員の休職
- ③ 教員の採用 ④ 任期制教員の再任
- ⑤ 評価室副室長の選考 ⑥ 情報セキュリティ委員会規程の改正
- ⑦ 地域創生学群設置準備委員会の構成 ⑧ 各種委員会の構成
- ⑨ 学則及び規程の改正 ⑩ 学友会交渉申入書に対する回答
- ⑪ サバティカル制度の導入 ⑫ 学部長等裁量経費

(経営企画課)

教員人事

2008年3月31日付

【退職】

- | | |
|-----------------|--------------|
| 国武 豊喜 (国際環境工学部) | 錦織 亮介 (文学部) |
| 古勝 正義 (外国語学部) | 内田 交護 (経済学部) |

2008年4月1日付

【昇任 教授】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 山本 進 (外国語学部) | 大平 剛 (外国語学部) |
| 西澤 健次 (経済学部) | 石川 精一 (国際環境工学部) |
| 松本 亨 (国際環境工学部) | 宮里 義昭 (国際環境工学部) |
| 神山 和久 (都市政策研究所) | |

【昇任 准教授】

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 梅澤 俊浩 (経済学部) | 齋藤 朗宏 (経済学部) |
| 西浜 章平 (国際環境工学部) | Duncan S Wotley (基盤教育センター) |
| 永末 康介 (基盤教育センター) | |

【異動 教授】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 伊藤 洋 (国際環境工学部) | 門上 希和夫 (国際環境工学部) |
| 楠田 哲也 (国際環境工学部) | 石川 精一 (国際環境工学部) |
| 乙間 末廣 (国際環境工学部) | 平野 雄 (国際環境工学部) |
| 二渡 了 (国際環境工学部) | 木村 温人 (大学院社会システム研究科) |

【異動 准教授】

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| Rodger S Williamson (外国語学部) | |
| 上田 直子 (国際環境工学部) | 加藤 尊秋 (国際環境工学部) |
| 河野 智謙 (国際環境工学部) | 池田 隆介 (基盤教育センター) |
| 上村 隆一 (基盤教育センター) | 柏木 哲也 (基盤教育センター) |
| 辻井 洋行 (基盤教育センター) | 水本 光美 (基盤教育センター) |

【採用 教授】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 大矢 仁史 (国際環境工学部) | 水野 貞男 (国際環境工学部) |
| 安井 英斉 (国際環境工学部) | 中島 俊介 (基盤教育センター) |

【採用 准教授】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 池田 欽一 (経済学部) | 安岡 匡也 (経済学部) |
| 五月女 晴恵 (文学部) | 伊原木 大祐 (基盤教育センター) |

【採用 講師】

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 福井 直人 (経済学部) | David McClelland (基盤教育センター) |
| Anne Marie Crescini (基盤教育センター) | (総務課) |

北方サロン



Vol. 18

Vol. 19

第18回北方サロンを1月16日(水)に開催し、20名の方が参加しました。法学部の中道壽一先生をコーディネーターに、外国語学部の小尾美千代先生と法学部の横山麻季子先生が話題提供しました。



小尾先生は「海外研修報告とアメリカの地球温暖化政策」というテーマで、海外研修で訪れたアメリカのメリーランド州についての紹介と、アメリカの地球温暖化政策の歩みや州レベルでの取り組みなどについて話しました。

横山先生は「地方自治における評価：評価による影響とは？」というテーマで、日本の地方自治体で行われている評価制度について、評価を行うことによる影響を調査結果を用いながら説明しました。

第19回北方サロンは2月20日(水)に開催し、11名の方が参加しました。コーディネーターは基盤教育センターの棚次奎介先生で、話題提供者は文学部の楠凡之先生と経済学部の齋藤朗宏先生でした。



楠先生は「青年期の自立を支援する『授業づくり』をめざして～北九大で一番『暗くて重い』(?!?)授業の取組み…」というテーマで、自身の授業での学生の声を通して、様々な傷つきや葛藤を抱えている学生に対する支援に大学はどう取り組むべきなのかという問題提起をしました。

齋藤先生は「意思決定過程を分析する」というテーマで、人はどのように意思決定をしているのかについて、意思決定モデルのひとつであるAHP (Analytic Hierarchy Process) を、昼食の意思決定といった身近な分かりやすい例を取り上げて説明しました。

(経営企画課)

都市政策研究所

「総合的なシンクタンクとして」

学生の皆さん、元気で大学生活をエンジョイしていますか。さっそくですが・・・都市政策って？大学の研究所って一体なに？と言われてそうですね。そこで、皆さんにわかりやすく研究所について解説いたしますので、チョット読んでみてください♪

都市政策研究所は、今から50年近く前の1959年に設立された北九州産業社会研究所が2006年に装いを新たに生まれ変わった大学の研究機関です。もともと社会科学系の研究所として、北九州市の地域産業や経済についての研究や社会福祉分野の研究に加え、アジア研究や関門地域研究などを行い、着実に地域社会の発展に貢献してきました。2年前、(財)北九州都市協会の研究部門を統合することで新たに都市計画の研究分野が増えることとなり、現在、私たち9人の所員は、大学のシンクタンクとして知的総合力を活かしながら受託研究・共同研究・助言指導(コンサルティング)など積極的な活動を行っています。

3号館1F といえは少し離れていますが、14,000冊の蔵書もありますので、ぜひ気軽に足を運んでください。「まちづくり」のことなら「いつでも、どこでも・・・ユビキタス」でご質問にお答えいたします♪



(都市政策研究所)

教務課

「単位や授業に関することなら」

学生の皆さん、こんにちは。教務課です。教務課は、皆さんと非常に関連が深い部署ですが、こわい雰囲気があるとか、何となく近寄り難いと思っらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。では、そんな教務課がどんな仕事をやっているか、ご存知ですか？

皆さんは入学試験という関門をくぐり抜けて、現在、学生生活を送っているわけですが、この入学試験に関する事務も実は教務課が行っています。また、教授会の開催や先生方の研究に関する支援なども教務課の仕事なんですよ。

そして、皆さんの一番の関心事である単位や授業に関することは、教務課にとっても最も大切な仕事と言えます。履修登録、追試や成績調査の申請などで皆さんを正しくサポートし、休講、補講、定期試験などの重要な情報を速やかにお知らせしています。もちろん、履修などの相談に対しても、親切な態度で丁寧に説明いたします。

北九大学生が楽しく充実したキャンパスライフを送れるよう、教務課はいつも応援しています。

※2008年4月の事務局組織改正により、入学試験係は広報入試課になりました。



(教務課)

学部	学科	前期日程				後期日程				前期・後期合計 志願者数(人)				
		コース	募集人員(人)	志願者数(人)	志願倍率(倍)	コース	募集人員(人)	志願者数(人)	志願倍率(倍)					
外国語学部	英米学科	昼	72	279	3.9	昼	10	132	13.2	411				
		夜	15	80	5.3					80				
	中国学科	昼	40	205	5.1					5	94	18.8	299	
		夜	7	72	10.3					72				
	国際関係学科	昼	50	211	4.2					10	93	9.3	304	
		夜	7	23	3.3								23	
	前期計	昼	162	695	4.3					昼	25	319	12.8	1,014
前期計	夜	29	175	6.0	175									
学部計		191	870	4.6	1,189									
経済学部	経済学科	昼(4教科)	60	(35)	106	3.0	昼	10	109	10.9	309			
		昼(3教科)		(25)	94	3.8					55			
		夜		5	55	11.0					55			
	経営情報学科	昼(4教科)	60	(35)	122	3.5					10	145	14.5	388
		昼(3教科)		(25)	121	4.8								38
		夜		5	38	7.6								38
	前期計	昼	120	443	3.7	昼					20	254	12.7	697
前期計	夜	10	93	9.3	93									
学部計		130	536	4.1	93									
文学部	比較文化学科	昼	70	150	2.1	昼	10	117	11.7	267				
		夜	8	19	2.4					19				
	人間関係学科	昼	35	97	2.8					10	83	8.3	180	
		夜	5	34	6.8								34	
	前期計	昼	105	247	2.4					昼	20	200	10.0	447
前期計	夜	13	53	4.1	53									
学部計		118	300	2.5	500									
法学部	法律学科	昼	100	440	4.4	昼	15	379	25.3	819				
		夜	11	35	3.2					35				
	政策科学科	昼	35	111	3.2					10	165	16.5	276	
		夜	6	37	6.2								37	
	前期計	昼	135	551	4.1					昼	25	544	21.8	1,095
	前期計	夜	17	72	4.2									72
学部計		152	623	4.1	1,167									
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	—	20	55	2.8	—	13	69	5.3	124				
	機械システム工学科	—	25	79	3.2	—	10	166	16.6	245				
	情報メディア工学科	—	38	137	3.6	—	19	195	10.3	332				
	建築デザイン学科	—	25	78	3.1	—	10	101	10.1	179				
	環境生命工学科	—	20	51	2.6	—	20	212	10.6	263				
	学部計		128	400	3.1		72	743	10.3	1,143				
	前期計	昼	650	2,336	3.6	昼	162	2,060	12.7	4,396				
前期計	夜	69	393	5.7	393									
合計		719	2,729	3.8	4,789									
前年度			701	2,568	3.7		145	2,015	13.9	4,583				

◎出張講義、大学訪問のご要望は随時受け付けています。お気軽にお尋ねください。
お問い合わせは、大学事務局広報担当 (Tel 093-964-4196) までお願いします。

大学訪問での説明会 ▶

